

## 平成27年度 中国ブロック青少年国際交流を考える集い開催要綱

### 1 趣旨

内閣府、各都道府県、地方公共団体の国際交流事業、青少年育成事業の既参加者、または関連事業に興味のある青少年等が、事後活動の情報交換を行うと共に、地域、職場等における事後活動の推進、国際交流及び国際親善についての研究協議を行うことにより、青少年の育成、国際交流及び国際親善の促進に寄与することを目的とする。

### 2 テーマ

**「自分を見つめ、地域を見つめ、世界を見つめて、自らの生き方を創る」**  
～鳥取で考える 激動の社会の中で 今守るべきもの～

我が国が、国を上げて、「地方創生」の取組を推進している昨今、私たち一人一人の地域への貢献意識が求められている。特に、これからの時代を担う青年の社会への積極的貢献とリーダーシップの発揮が期待されている。そのためには、自分たちの住む地域を知り、理解し、自らの言葉で発信することが重要であり、本大会においては、参加者同士が意見交換をし、どのように行動していくかを考え、実践のきっかけを提供することを目的とする。

具体的には、内閣府青年国際交流事業で得た成果をいかして、地方独自のコミュニケーション、地域福祉、人権、伝統文化など、地域が直面する課題や活性化に資する素材を鳥取県から発信するために、基調講演において、コミュニケーション能力の向上について考え、各分科会を通じて、意見交換や体験の機会を得ることによって、世代を超えた交流や国際交流を通じた青少年育成に係る活動、リーダーシップの醸成を図ることで、一人ひとりが、世界、地域との関わりを考え、生き方の創出に寄与することをねらいとする。

### 3 主催

内閣府  
日本青年国際交流機構  
(一財)青少年国際交流推進センター  
とっとり青友会

### 4 後援

鳥取県 米子市 (予定)

### 5 主幹

平成27年度「中国ブロック青少年国際交流を考える集い」実行委員会

### 6 期日

平成27年12月5日(土)～6日(日)

### 7 会場

【全体会場・講演会場・分科会会場・懇親会場】

国際ファミリープラザ 会議室

〒683-0823 鳥取県米子市加茂町2丁目180番地 電話(0859)37-5112

【宿泊・2日目会場】

米子ニューアーバンホテル

〒683-0822 鳥取県米子市中町2-8 電話(0859)23-2211

### 8 参加対象者

内閣府・各ブロック内の地方公共団体が実施した青少年国際交流事業の既参加者、国際交流に関心のある青少年等

## 9 問い合わせ先

中国ブロック青少年国際交流を考える集い実行委員会事務局(とっとり青友会事務局内)  
〒689-0217 鳥取県鳥取市気高町酒津650  
電話 090-8992-7026 FAX 020-4624-2598 E-mail nt0881782@ncn-t.net

## 10 参加費

参加形態	A	宿泊(全日程参加)	大人1名(中学生以上)	12,000円
			3歳~小学生以下	7,000円
	B	日帰り(懇親会参加)	大人1名(中学生以上)	6,000円
			3歳~小学生以下	3,000円
C	日帰り(講演会・分科会のみ)	※IYEO 会員以外の一般の方は無料です。	500円	

※ ホテルはシングルが基本ですが、ツインが若干あります。ご相談ください。

## 11 参加申込

参加申込書に氏名、住所、性別、懇親会参加の有無、宿泊希望、を明記の上、11月22日(日)までに、下記へ郵送、FAX、E-Mail でお申し込み下さい。参加者1名につき1枚の申込書に御記入ください。

※ 申込を頂いた方には、個別に確認の連絡をさせていただきます。

### 【申込先】

郵送 〒689-0217 鳥取県鳥取市気高町酒津650 とっとり青友会事務局内  
「平成27年度 中国ブロック青少年国際交流を考える集い」係

FAX 020-4624-2598

E-Mail nt0881782@ncn-t.net

### 【参加費の支払いについて】

当日受付で支払いをお願いします。その場で領収書を発行します。

### 【キャンセルについて】

11月30日(月)以降の御連絡は期日に応じたキャンセル料が発生します。

## 12 日程

### 【第1日目 12月5日(土)】

12:00~13:00 国際交流事業関係者連絡会議

13:00~13:30 受付(国際ファミリープラザ 3F)

13:30~13:45 開会式

14:00~15:30 講演会:「通訳業を通じて感じるコミュニケーション能力の大切さ」

講師:神崎 龍志 氏(明海大学外国語学部中国語学科准教授 中国語会議通訳者)

内容:中国語会議通訳者として23年間通訳業務に従事してきた経験から、言語が違うことによる意思疎通の微妙さ、相互理解の重要性を、具体的な事例を交えてお話いただきます。

日中両国の首脳級会談、条約交渉等での通訳などハイプレッシャー環境下における冷静・正確なコミュニケーションをリードしてきた同氏ならではの、スムーズな会話のポイントなど、国際交流活動に即対応できるポイントが満載です。

15:45~17:30 分科会

### ① 自分を見つめ 大切な人を守る

演題:「家族を守ること 自分に みんなにできること」

講師:松本 孟 氏(北朝鮮による拉致被害者家族連絡会)

内容:様々な分野で国際交流活動が進められている昨今ですが、国同士等の様々な利害が交錯することによって、悲惨な紛争や深刻な人権侵害など、大きな問題が生じてきます。そしてそれは、決して遠い問題ではなく、各地域や個人に重大な問題としてふりかかってくることもあります。一人ひとりが実情を認識し、正しい情報への理解力を高め、現実に行き起きていることに正面から向かい合い、自ら考え、解決へ向けた行動

を起こすことが大切と考えます。本分科会には、北朝鮮による拉致被害の当事者家族である松本孟さんに、被害の状況や御家族の思いを直接聞くことで、地域における私たちの認識や行動の在り方を考えます。

## ② 地域を見つめ 地域の未来を創る

演題:「CHAXの取組 挑戦」

講師:石丸 知 氏(社会福祉法人 養和会)

内容:CHAXとは、医療と介護のハイブリッドとして、子ども、障がい者、高齢者の交流を目指すメディカルフィットネスセンター。2015年8月にオープンし、要介護者と健常者の間にある「グレーゾーン」の高齢者を対象としたシナプソロジー体操教室や、障がい者の競技レベル向上をサポートするスポーツ教室、小学生の運動神経向上を狙ったコーディネーショントレーニングなど、世代を超えた地域支援活動の展開について紹介します。認知症予防体操なども体験できます。

## ③ 日本の心を見つめ 伝統文化を広める

演題:「まちづくりに生きる茶道体験」

場所:ながた茶店(米子市岩倉町)

内容:創業1801年のながた茶店。今年で215年目を迎えます。現社長の長田吉太郎氏は、健康と食の安全・安心を追求し、大山のふもとで栽培した有機栽培(オーガニック)によるお茶販売を開始し、その商品種類は今や日本一多い会社となっています。また、町おこしや物産振興にも力を入れ、鳥取県の商都である米子のPRにも知恵と情熱を注いでいます。社長の課題は「変わらないために変わるか」。日本の伝統文化である茶道体験を通じて、クールで熱いスピリットを体験できます。※参加費 300円

17:45~18:30 移動・チェックイン(チェックイン後懇親会会場へ移動)

18:30~20:30 懇親会(終了後ホテルへ)

【第2日目 12月6日(日)】

~ 8:30 朝食

9:00~11:00 各県の活動紹介、参加事業報告会、情報交換会

11:00~ 閉会式

11:30~ 地域理解研修(希望者にはいくつかのプランを紹介します)

例:境港方面、とっとり花回廊方面(交通費等は実費負担)

## 13 実行委員会

実行委員長	足立 充	2012年 第11回	青年社会活動コアリーダー育成プログラム	米子市
事務局長	更田 匡史		県単事業派遣、IYEO中国ブロック幹事	東伯郡湯梨浜町
実行委員	河崎 忠義	1994年 第21回	東南アジア青年の船	鳥取市
実行委員	白川 泉	1992年 第14回	日中青年親善交流	西伯郡伯耆町
実行委員	大谷 博美	1992年 第6回	日韓青年親善交流	倉吉市
実行委員	廖 汝幸	2012年 第34回	日中青年親善交流(涉外)	鳥取市
実行委員	瀬良 知紀	2004年 第18回	日韓青年親善交流(涉外)	鳥取市
		2007年 第21回		
実行委員	西堀 慶	2012年 第11回	青年社会活動コアリーダー育成プログラム	鳥取市
実行委員	松原 ノエル	2007年 第20回	世界青年の船	東伯郡三朝町
実行委員	柿本 和也	2013年 第12回	青年社会活動コアリーダー育成プログラム	境港市
実行委員	山根 健一	2013年 第12回	青年社会活動コアリーダー育成プログラム	米子市
実行委員	小谷 賢治	2006年 第19回	世界青年の船	鳥取市